

第三部 官庁訪問 体験記

このコーナーでは、経験しなければなかなか実態が掴めない官庁訪問の様子をお伝えします。後半に内定者の対談も載せていますので、訪問前のイメージトレーニングに是非お役立てください。

なお、掲載している情報はあくまで令和元年度官庁訪問における経験に基づき内定者の視点から語られたものであり、来年以降の官庁訪問のシステムや内容は以下と異なる可能性があります。

- 環境省の官庁訪問（一般職試験）の簡単な流れ -

官庁訪問前

国家公務員試験1次試験の合格発表と共にメールで訪問希望日を予約しました。

官庁訪問申込票をHPからダウンロードし、記入しておきました。記入は手書きでもパソコンでも大丈夫です。

官庁訪問が始まる前日に省庁合同説明会がありました。時間が3つに分かれているので、気になる省庁には行ったほうがいいと思います。

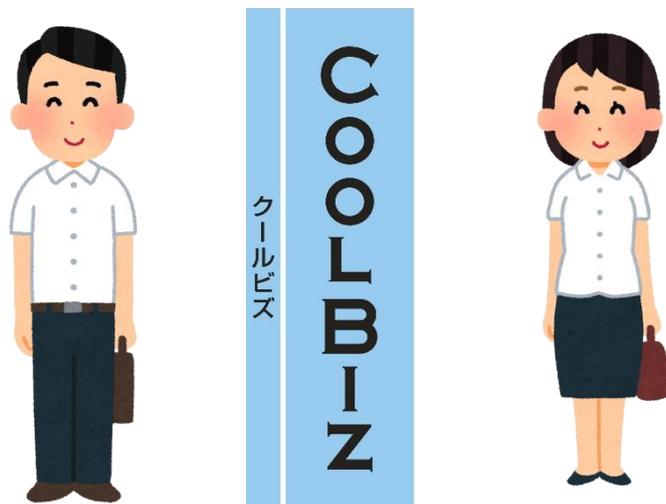
官庁訪問当日

指定された時間・会場に集合。昼休みを挟み、一日かけて数回の面接を行いました。

国家公務員試験2次試験の合格発表日にもう一度面接をして内々定です。

- 環境省の官庁訪問（一般職試験）の服装-

官庁訪問はクールビズ期間である夏に行われるため、ノージャケット、ノーネクタイの軽装で面接を受けることが可能です。当日はノージャケットの訪問者が多数でした。もちろん冷房が苦手であればジャケットを羽織っても大丈夫です。



- 環境省の官庁訪問（一般職試験）の体験記（座談会） -

※座談会形式のためフランクな文体ですがご容赦ください※

【官庁訪問のために準備したことは？】

大悟： ノブって大学の公務員講座とか受けてた？

ノブ： 受けてたよ。

大悟： どんな勉強するの？

ノブ： 大学3年生の6月くらいから9月（夏休み末）までほぼ毎日講座があったから、座学で教養とか専門の勉強していた。

大悟： 面接は？

ノブ： 大学で模擬面接が公務員講座の中のカリキュラムに組み込まれていて、練習してた。

大悟は？

大悟： 総合職も考えていたから、大学のキャリアセンターの公務試験の本で勉強はしていた。面接は公務員試験の2次試験の対策でキャリアセンターの人に練習させてもらったかな。

ノブ： 一般職は？

大悟： 一般職は大学院1年の時に軽い気持ちで受けて受かったからなにも勉強していない。

ノブ： 羨ましい…。ほかは？

大悟： 院1年の時に2週間環境省のインターンシップにも行ったよ！

結構その経験が志望理由にもつながったかな。官庁訪問直前は？

ノブ： 面接で聞かれそうなことを準備してた。

大悟： 例えば？

ノブ： 王道だけど志望理由とか長所短所とか。大悟は？

大悟： 面接カードはしっかり考えて書いたかな。

ノブ： どこを重点的に書いた？

大悟： やっぱ志望理由かな。

ノブ： 一緒じゃん笑

大悟： いや、みんなそうでしょ笑。書き方とか工夫した？

ノブ： 最初に結論を述べてからエピソード書いたよ！公務員講座で添削もしてもらってた。

大悟： 書き方は特に意識してなかった。添削は同期とか、一緒に就活してる学部生とかに見てもらってたよ！

【当日持っていったものは？】

ノブ： 面接対策ノートと時事の教科書、新聞のスクラップとか持ってたかな。

あと公務員採用情報が載っている本。

大悟： え、めっちゃ準備してるじゃん（笑）。私は空き時間があると思って文庫本を持ってたかな。ノブがノート見てたのすごく印象に残っている！

ノブ： え～そうだったの～。活用した？

大悟： 結局話すことが多かったから、あんまり読めなかった。緊張もしてたし！

ノブ： 私はあと、環境省関連の資料（説明会でもらった資料）を持ってってた！

大悟： 私もパンフレットとかインターンで使ってたノートを持ってってた！

【官庁訪問全体の印象は？】

大悟： 民間とか受けなかったから、面接自体が初めてで、もちろん待合室的なものも初めて経験したから、緊張していた。

ノブ： 緊張している割に周りがすごく余裕そうで、焦った。

大悟： わかる！でも結局受かったのが我々ってことは、ある程度緊張感が必要なんだね。

ノブ： そうだね。面接官との距離が案外近くてびっくりした。

大悟： 官庁訪問は環境省のことも聞けるおしゃべり的な感じで、自分からも結構質問した。

ノブ： 質問した。今やっている政策のこととか、仕事のこととか。

大悟： 入省までの過ごし方とか、入るまでと入ったあとのギャップとか聞いてた。

ノブ： 今振り返ると、全体的に明るい雰囲気だったよね。

大悟： 私、気象庁も併願先として考えていたんだけど、官庁訪問は環境省を1番に行って、ここがいいって感じたんだよね。

ノブ： そうなんだ。気象庁の官庁訪問は結局行ったの？

大悟： 行ってないよ。環境省を官庁訪問した後、環境省で働きたいっていう気持ちが高まりすぎて、志望先を一つに絞っちゃった。

ノブ： 官庁訪問で志望が決まる人多いよね。

大悟： 私は一つに絞ったけど、いろいろな官庁訪問をして志望先を決めるのも大事だよ。

【苦労した点・印象に残るやりとり】

大悟： 印象に残るやりとりは、「入省までにしたほうがいいのか」と面接官に聞いたらい入省まで研究をしっかりとすること、旅行に行った方がいいと言われたこと。

ノブ： 海外の政府の方々と直接やり取りをされてる方との面接で、初めて知る仕事内容があってすごく勉強になったし、印象にも残っている。苦労した点は？

大悟： 苦労した点は面接カードを書くことかな。国語力がないもので。

ノブ： 私は、聞かれていることにちゃんと答えること。

大悟： 聞かれていることと話していることが正しいか考えながら話すのが難しかったよね。

ノブ： だよ！面接対策していたことと内容がだいたい同じだったので、詰まることはなかったけど、それが果たして答えだったのかは未だ謎なんだよね。

【空き時間はどのように過ごしていただきましたか？】

ノブ： ひたすらにおしゃべり。あとはノート見てた。

大悟： おしゃべりしたね～。部活の話とか地元の話とか。4時間くらい待ち時間があったから、夜になるにつれて話も盛り上がった気がする。

ノブ： 官庁訪問で仲良くなれたよね？

大悟： なれたね！勝手に少林寺拳法部だと思ってたけどね。

ノブ： いやいや、バスケ部ね。

大悟： そうなのよね笑

ノブ： あとは、1年目や2年目の理工系の先輩ともたくさん話せた。

大悟： 一般職理工系の職員さんに会ったことがあまりなかったから嬉しかった。

ノブ： 確かに！先輩職員さんの官庁訪問の様子とか仕事の内容とか生の声をたくさん聞けた。

大悟： とても参考になったよね。官庁訪問中に環境省への志望度がかなり高まったよ！

【官庁訪問を通して自分の何が評価されたと感じましたか？】

大悟： 笑顔で元気に話せたことがきっと評価されたんだと思う。

ノブ： 環境省に入りたい！という気持ちが全面に押せたからだと思う！

大悟： 性格もなんだか似ている気がする笑

【官庁訪問を受けて、環境省のイメージはかわりましたか？】

ノブ： ない

大悟： ない

ノブ： 説明会で、どんな省庁なのか聞いていたから、イメージがしっかりついてた。

大悟： 私もインターンでイメージがついていたし、職員さんが明るいイメージもあってとくにイメージの変化はないかな。

説明会行く前と後は変わった？

ノブ： 思っていたよりも幅広く“環境”に関わっていて、経済的な面も重視していることは説明会行ってから気づいたかな。大悟は？

大悟： インターンに行く前は眼中にもなかったくらい。“気候変動適応法”で環境省を知ってから、興味をもってインターンに行った感じ。

インターン後は環境と法みたいなイメージ。

国民がより暮らしていくために、現状や将来のことを理解して、法律によって整えていくイメージかな。

ノブ： 結構身近なところで環境省と関わっていることがあるよね。

大悟： あるね。配達を1回で受け取ろうキャンペーンとかね。案外身近よね。

【地方から来た人は交通、宿はどうしましたか？】

大悟： ノブは結構遠いよね。

ノブ： 夜行バスだったら往復で1万で来れたけど、新幹線だと往復3万くらい。

大悟： 官庁訪問期間は宿泊した？

ノブ： した！ほかの省庁も行ったり訪問がてら観光もしたから、全部で4泊5日くらい。

大悟： 全部で食事代とかも含めて4万くらいするのか！

ノブ： そうだね、結構痛かったな、バイトもできない時期だしね。

大悟： 講座があった期間もバイトしなかった？

ノブ： しなかった。だから全然お金がなかったよ～泣 大悟は？

大悟： 私は実家が神奈川だから、大学を2週間くらい休んで実家から通ってたよ。
でも結局第一志望の環境省しか官庁訪問しなかった。

ノブ： 私は経済産業省も官庁訪問したよ。

大悟： 複数官庁訪問するなら、地方の人は新幹線使うなら7万くらいはかかるとっていいかもね。

ノブ： 私は夜行バスをおすすめする！安い、寝れる、起きたら東京！感動！

【最後に一言】

大悟： 官庁訪問は緊張もするし、不安もあるだろうけど、働きたい気持ちや働いている自分を想像しながら行くといいと思います！

たくさん説明会に行くといい！よ！

ノブ： 職員の方はとてもいい人たちで、この人たちと一緒に働きたいと思える職場なので、みなさんのこと待ってます！！

おわりに

以上が、一般職理工系内定者による合格体験記「内定者の声」です。私たち内定者がどのように試験対策に取り組み、就職活動をし、どのような考えをもって環境省を目指したのか、皆さんが環境省を将来の選択肢として考える際に少しでも役立てていただけたらと思っております。この「内定者の声」は次に環境省を目指す皆さんへの我々内定者からの、バトンです。私たちとともに、環境問題の最前線に立って日本、そして世界の未来を作っていきませんか？

内定者一同、皆さんをお待ちしています！

2020年1月 環境省一般職理工系内定者一同